



# 志高く

自ら考え 学び続ける生徒  
心豊かで 思いやりのある生徒  
体を鍛え やり抜く生徒

## 「開花に結びつける本気・全力の挑戦をする」2学期に！

－17日間の『短い夏休み』を、93日間の『長い2学期』に活かす－

石川 浩

コロナ禍による1学期当初のおよそ2ヶ月に及ぶ臨時休業を補うため短縮された『短い夏休み』が終わりました。ZOOMを使った1学期の終業式で、「短い夏休みは自分を伸ばすチャンスだ」という話をしましたが、短期間であったからこそ集中できるというメリットを活かし、自分を伸ばす責任者として、あなたのやる気スイッチをONにすることはできましたか？

17日間の『短い夏休み』を終え、今日から93日間の『長い2学期』が始まりました。40日間の1学期を通して学び身に付けたことを、『短い夏休み』に活かし、言われてできることと自分で考え判断して行動できることの違いを、夏休みという任された期間の中で体験を通して実感したことは、これから始まる『長い2学期』に大いに役立つはずですよ。



1学期の取組を通してみんなで創り上げた深中の「新しい深中生としての構えと形」。下足入れのきちんとかかどが揃った靴、心のこもった明るいあいさつや姿勢、無言清掃、そして新型コロナウイルス感染予防への対応など、限られた1学期の間に、これまでどおりの深中生としての構えと形、それに加えて新しい深中生としての構えと形を身に付けたことで、みなさんの可能性は大きく広がったと感じていました。その可能性をさらに広げ確かにしていくために、2学期は「開花に結びつける本気・全力の挑戦をする」ことを重点に取り組みます。「挑戦」とは、できないことをできるようにしたり、できているものをより高いレベルに磨き上げたりすることを言います。その基礎として「勉強」が大切なのは言うまでもありません。2年生のコミュニティー広場に、作家・武者小路実篤氏が、深谷中学校のために揮毫された「勉強 勉強 勉強／勉強のみよく奇蹟を生む」という言葉を刻んだ石が飾られています。繰り返し勉強することで、先人の知恵や知識を自分のものとしてすることができます。しかし、新しい時代の担い手となっていくみなさんは、こうした勉強だけでなく、勉強して身に付けたことを活かし、これまでの知恵や知識を乗り越えていく学びが求められています。こうした学びに必要なものは、基礎となる勉強に加えて、より高いレベルにある自分をイメージしながら学びに取り組む意欲と、とにかく自分の頭で考えることです。私は『短い夏休み』だったので出かけることはせず、いろいろな本や資料を読むことに多くの時間を使いました。その中に『鬼滅の刃』という漫画もありました。中学生にも人気のある本なので、読んだ人も多いと思います。主人公の竈門炭治郎は、幾多の強敵(鬼)との戦いを経て大きな成長を遂げていきますが、炭治郎を大きく成長させた理由は、決して諦めることなく重ねた鍛練とともに戦いの中でも常に「考える」姿勢にあると思います。「どうせ無理」と自分の可能性をあきらめず、自分が分かっていないことを発見し、仮説を立てて解にたどり着く「考える」ことを中心とする「学び」に、行事に限られ同じような日常が続く『長い2学期』の中で繰り返し挑戦してほしいと思っています。

## 2学期に向けて

2学期始業式の中で、各学年の代表が、1学期と夏休みを振り返るとともに2学期への決意を語ってくれました。その一部を紹介します。

### 1年2組 又野 凌雅さん

2ヶ月の休校明けから始まった1学期はとても短く、中学校生活に慣れることで精一杯だった気がします。ぼくはクラスや学年のために自分ができることや役立つことがあると考え学級委員になりました。学級委員の仕事は大変でしたが、苦手な友達とのコミュニケーションを取り、学級委員としての役割を果たすよう努力しました。

2学期は、1学期の成果の上に、慣れたからこそできることを責任をもって進めることを意識して積み重ねていきます。学習面では、1学期の期末テストで分かった自分の苦手を克服し、2学期の中間・期末テストに臨みたいと思います。生活面では、1学期の緊張感をなくさず、規律ある生活を送ります。1学期にできるようになったことに加えて、自ら考え進んで行動できるようにしたいです。部活動では、引退した3年生の先輩方と活動できたのは本当に短い期間でしたが、大切なことをたくさん教えていただきました。先輩方のように、ハードな練習にも、逃げずにあきらめずに全力で取り組みます。

様々な面で、責任感をもって全力で取り組み、本物の深中生として大きく成長できる2学期にしていきます。

### 2年2組 小林 美輝さん

短い夏休みを終え、楽しみにしていた深中三大行事のない2学期がスタートします。大きなイベントがないからこそ、日常の中でクラス・学年が成長していきたいと思っています。

私たち2学年は、この2学期から中学校生活の後半戦に入ります。3年生から引き継いだ深中のリーダーの意識と責任を一人一人がもち、部活動や生徒会活動など日々の活動に取り組む時期にします。学年目標である『自律』の力を身に付け、自分だけでなく後輩を含め深中全体を律することができるようになります。そのために、一人一人が自分で考え判断して課題を改善する姿を示していきます。来年は受験生となることを見据えて、自分に合う学習スタイルを身に付け学力アップにつながる行動もできるようにします。集団としては、一人が皆のために、皆が一つの目的のために行動できる団結力を磨きます。誰もがリーダーとして行動し、誰もがその時々のリーダーをフォローします。そのために、自分の考えを安心して言える仲よい信頼し合える集団になっていきます。

2学期は、日々の生活の中で自律とリーダーシップ、そして学力アップを磨き、個人としてもクラス・学年という集団としても、中学校生活の後半戦をよいスタートがきれるようにしていきます。

### 3年2組 菊地 冴さん

私たち青学年にとって、今年は試練の年となりました。1学期は、感染症による臨時休校で、最上級生としての大切な最初の2ヶ月を失いました。これまでのような修学旅行も中止となりました。そして2学期は、ずっと楽しみにしてきた私たちの最後の深中三大行事を失いました。そんな中で、卒業後の進路を決める受験は残って私たちを迎えます。こうした試練を乗り越えるために、2学期に青学年全体で取り組むことが3つあります。

一つ目は、計画を立ててやり抜くことです。この夏休みも学習計画を立てましたが、計画どおりにできた人よりも、やるべきことを後回しにしてしまった人の方が多かったのではないかと思います。受験まで約5ヶ月となり、もう勉強を後回しにはできません。しっかり計画を立て、それをやり抜く2学期にしていきます。2つ目は、深中生として当たり前のことを当たり前にやり切ることです。前期学級委員会では、あいさつ・けじめ・活発な授業を3つの柱として、学年全体の質を高める取り組みを進めています。どれも基本的でありながらこれまで十分にはできていないことでした。しかし深中の最上級生としては当たり前でなければならぬものです。3つ目は、その上で明るく楽しく過ごすことです。1つ目も2つ目もやり抜きやり切ることは大変なことです。しかしそうした困難を、共に2年間を過ごしてきた青学年の仲間と成し遂げていくことは楽しく嬉しいことです。また、一人では苦しくて挫折しそうなどきでも、仲間と明るく前向きに取り組んでいけば乗り越えていけるはずですよ。

今この深中で仲間と共に試練の年を克服することを楽しみ素晴らしい年にするために、私たち青学年は団結して取り組み、2学期を充実させます。

## 8月の主な行事予定

8/18	火	第2学期始業式(ZOOM) 部活動終了15:30 下校完了15:45	25	火	
19	水	B期時間割開始 朝練なし 月・2・3・火2・学級討議・避難訓練 給食開始	26	水	発明創意くふう展【熊谷・妻沼中央公民館】
20	木	朝練なし 火6・木2・3・4・5・6 全国学力・学習状況調(3年生①)	27	木	
21	金	朝練なし 全国学力・学習状況調(3年生⑤⑥)	28	金	朝練なし 学校訪問(①～③特別時間割) SUL
22	土		29	土	SUL(野球部)
23	日		30	日	
24	月	朝練開始	31	月	3年生第1回実力テスト(①～⑤) SUL